

薬学  
人文社会学部  
ヒューマンケア学部  
健康メデイカル学部  
健康医療スポーツ学部

学 力 試 験  
国 語

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

- 一、試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 二、解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。マーク式の問題はマーク用解答用紙に左記の例のようにマークしてください。

(例)

解答	1	2
①	○	○
②	○	○
③	●	○
④	○	○
⑤	○	○
⑥	○	○
⑦	○	○
⑧	○	○
⑨	○	○
⑩	○	○

※同じ解答欄に複数のマークをすることもありません

記述式の問題は記述用解答用紙に記入してください。

- 三、机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
  - 四、問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
  - 五、問題は3問全問解答必須です。
  - 六、試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
  - 七、問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
  - 八、配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中に入れてください。

志望学科・コースの上枠に○をつけてください（第一志望のみ）

受験番号		志望学科・コース																	
氏名	薬学部																		
	薬学	人文社会学部			人文社会学部			ヒューマンケア学部			健康メデイカル学部			健康医療スポーツ学部					
	薬学	人文社会学部	小学校・特別支援コース	保育・幼稚園コース	福祉コース	メディア文化コース	経営情報コース	観光経営学科	看護学科	健康栄養学科	心理学	言語聴覚学科	作業療法学科	理学療法士コース	救急救命士コース	臨床工学コース	スポーツサイエンスコース	看護学科	
	薬学	人文社会学部	経営情報コース	観光経営学科	看護学科	健康メデイカル学部	健康栄養学科	心理学	言語聴覚学科	作業療法学科	理学療法士コース	救急救命士コース	臨床工学コース	スポーツサイエンスコース	健康医療スポーツ学部	看護学科			

【問題1】 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

美は一つであるが、美の都へ至る道は二つであると考えられる。一つは「美術」fine Art と呼ばれ、一つは「工藝」Craft と呼ばれる。だが今日まで美の標準は事実美術からのみ論じられた。したがって工藝は低い位置に棄てられ、その意義は全くア せられた。美学書を見られよ、それはほとんど全く美術の上に建てられた美学ではないか。工藝は Die Unfreie Kunst と名づけられ、また The Practical Art と The Applied Art と呼ばれた。この「不自由」とか「実際」とか「応用」とかいう形容が二段三段に卑下された意味であるのは云うまでもない。そうして美はイ したものなる故に讚美された。だが果して今日のかかる美学は美を真実に見つめたものであろうか。

この偏見は恐らく文藝復興期から真に美の発展が開始されたと考えるからであろう。人々はその絢爛さに長い間 a 眩ワクせられた。実際その時から美術は高まり、工藝は沈み始めた。そうして美術のみが美の標準を与えた。しかもその頃は個人主義 b ポツ興の時代である。かくして美もまた個人的なるもののみが最高な位についた。文藝復興は実に個性の自由主張であった。かくして今日までも美は個性美であるという考えが強く残る。

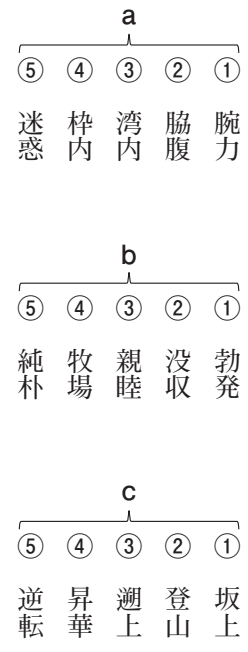
個性美も一つの美であることに誤りはない。だがそれは最後に満足すべき美であろうか。個人主義が不満足になる時、かかる美への見方は永続するであろうか。一度眼がルネサンス以前に c サカノボの時、美への見方に一動揺が来ないであろうか。何故ならあの驚くべきゴシック時代では、どこまでも美がウ と交わっているからである。そうしてどこにも個性の跋扈がないからである。そこには自由の美に対してエ があるからである。そこには正しい伝統が守られているからである。絵画でも彫刻でもかかる意味で美術というよりは工藝であった。それは単独な存在ではなく建築の一部でさえあった。同じようにあの優秀な六朝や推古の仏教藝術はむしろ工藝と呼ぶべきではないか。用を離れ美を目的とした個人的な絵画や彫刻では決してない。すべての美は伝統から生れた。

今日美術と呼ばれるものは皆 Homo-centric 「人間中心」の所産である。だが工藝はそうではない。そうでないがためにオ せられた。しかしそうでないが故に讚美される日は来ないであろうか。工藝はこれに対し Natura-centric 「自然中心」の所産である。ちょうど宗教が Theo-centric 「神中心」の世界に現れるのと同じである。だがかかる工藝美は近代の美学でよく解き得るであろうか。個性中心の見方からして、工藝の美が等閑にされたのも無理はない。否、高き工藝は、美術的であらねばならぬとさえ考えられた。だが、これが工藝への正当な見方であろうか。私はそう考えることができぬ。

もし美術が唯一の高き意味での美を示すなら、私たちは現実を離れねばならぬ。美は実用から遊離すると考えられるからである。そうしてカ を放棄せねばならぬ。美はひとり天才の所業だからである。そうして自然には反逆せねばならぬ。個性の勝利に美があると云われるからである。そうして秩序の世界を見棄てねばならぬ。自由がより以上の美であると云われるからである。認知されるのは I 「自力美」である。「他力美」というが如きは近代の美ではない。近代ではほとんど考えられない美である。

(柳宗悦『工藝の道』による)

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の  ～  にマークしなさい。



問二 空欄  に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の  にマークしなさい。

- ① 閑却
- ② 忘却
- ③ 脱却
- ④ 焼却
- ⑤ 返却

問三 空欄  に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の  にマークしなさい。

- ① 応用から遊離
- ② 実用から遊離
- ③ 自由から遊離
- ④ 文藝から遊離
- ⑤ 藝術から遊離

問四 空欄  に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の  にマークしなさい。

- ① 理想
- ② 過去
- ③ 理論
- ④ 人間
- ⑤ 実際

問五 空欄「工」に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「7」にマークしなさい。

- ① 哲学の美
- ② 理想の美
- ③ 秩序の美
- ④ 人間の美
- ⑤ 束縛の美

問六 傍線部Ⅰ「自力美」について本文の内容を踏まえて説明しなさい（句読点、記号を含み20字以内）。解答は記述用解答用紙に書きなさい。

問七 空欄「才」に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「8」にマークしなさい。

- ① 称賛
- ② 非難
- ③ 卑下
- ④ 尊敬
- ⑤ 排除

問八 空欄「力」に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「9」にマークしなさい。

- ① 天才
- ② 民衆
- ③ 自然
- ④ 工藝
- ⑤ 自由

「問題二」 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

どう考えても、戦艦大和の沖縄への出撃が無謀であったことは明白でした。ところが、空気に抗うことができず、エリートたちが無謀な作戦を承認してしまったわけです。

この例が a 示サするように、空気とは守らなくてはならない掟のようです。それも、ルールや契約のような形で明示されていませんから、より正確に言えば「ア」です。掟ができて、はじめて同調圧力という名の命令が生まれるとすれば、同調圧力とは「掟によって生じる命令」と言えます。

他方、空気を単なる雰囲気や世論と同じ意味で使用する人たちもいます。しかし、「曖昧な掟」として働く空気こそが問題であると考えますので、本書では前者の意味での空気は扱いません。

それでは、どうして日本人は空気を守るのでしょうか。

この件について、山本氏<sup>注1</sup>と小室氏は沢山の考察をしています。が、私なりに重要なポイントを突き詰めると「イ」という特徴に尽きると思います。

もしも、人間より偉い神様がいて、その神様と約束をしていたら、同調圧力よりも強力な命令が発生します。神様との約束に反するような同調圧力が生じて、神様の命令を優先するため、同調圧力には従わないということです。

一方、日本人も神様を大切にしているように思えます。神社に行くし、とりあえずクリスマスを祝うし、地域には山岳信仰もありました。日常生活では、あちこちに神様がいて、むしろ神様を大切にしているように感じます。

でも、やっぱり日本では人間の方が偉い。その証拠は、日本人が勝手に神様を改造してきた歴史にあります。

私の住む福島県には、はやま信仰とよばれる宗教がありました。葉山とか端山といった漢字が当てられるように、端つこの山、つまり里山の神様がいます。

ところが、よくよく調べてみると、海に近い地域では海の神様となり、馬を沢山育てている地域では馬産の神様に変わっていることが分かります。人間の都合に応じ、信仰の対象を変化させてしまったのでしょうか。

たしかに、日本人も神様を大切にしています。でも、人間よりも神様の方が格別に偉いと考えていたら、こんな d 不遜なことをできるでしょうか。私の故郷である喜多方市では、観光客にアピールするためか、喜多方ラーメン神社なんでものまで作られました。究極的には人間にとって役立てば何でもよいわけです。

私の学習塾の生徒が受験する国際基督教大学の過去問(二〇一九年度 総合教養)を解いていると、「日本の公的な領域では、低コンテキストのコミュニケーションを定着させる必要がある」という選択肢が目に見えませんでした。

コンテキストは「文脈」と訳されることが多いのですが、「背景」「状況」と考えたほうがわかりやすいでしょう。その社会、場で共有されている常識のようなもの、ととらえてもよいです。「長い経緯から、うちのムラではあたりまえのこと」というような「常識」です。高コンテキストのコミュニケーションが成立している、というのはそうした常識を皆が共有している状態です。極端にいえば、何も言わなくても「ウ」ですべてが通じます。

たとえば長年連れ添った夫婦の間には往々にして高コンテキストのコミュニケーションが成立してい

ます。「おい」だけでリクエストが通じるわけです。

一方で付き合いはじめのカップルではそうはいきません。互いの望むことを口に出す必要があります。コンテキストへの依存度が低いと言えます。

低コンテキストのコミュニケーションとは、簡単に言ってしまうえば「エ」のことです。コンテキストへの依存度が低い、つまり文脈なり背景なりを知らずとも簡単に理解できるハッキリとしたコミュニケーションを指します。反対に高コンテキストのそれは、文脈をきちんと**b**ハ握しないと意味が特定できない曖昧なものです。

大学の過去問で指摘しているのは、日本では往々にして高コンテキストのコミュニケーションが幅を利かせているということでした。この日本における高コンテキストのコミュニケーションの弊害は、様々な論者により度々指摘されてきました。曖昧な意思疎通を繰り返した結果、なんとなく**c**ジヨウ成された空気によって物事が決まっていく様子は、もはや日本のあらゆる場面における定番です。

もし、先の選択肢が実現すれば、物事が決まる過程は大変明瞭になり、なんとなく空気を読みながら曖昧な発言を繰り返すといった光景はなくなりそうです。逆に、高コンテキストのコミュニケーションを日本人が好むからこそ、空気が生じてしまうとも言えます。

もしかすると、日本人が高コンテキストのコミュニケーションを好むから空気が発生するのではなく、空気があるから日本人は高コンテキストのコミュニケーションを好むのかもしれない。もつとえば、この両者が同時に成立することもあり得ます。

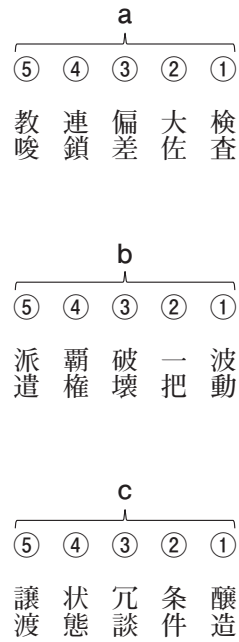
ただ、その何れのパターンだとしても、日本人は空気に支配されているという説を補強することには変わりありません。やはり、空気とか同調圧力といった存在は、日本において強い力を持つてしまうようです。

(物江潤『空気が支配する国』による)

注 1 山本氏……山本七平『日本教の社会学』『「空気」の研究』

注 2 小室氏……小室直樹『日本教の社会学』

問一 傍線部 a ～ c のカタカナ部分と同じ漢字を含む熟語を、次の中からそれぞれ一つ選びなさい。解答は a ～ c の順にマーク用解答用紙の 10 にマークしなさい。



問二 空欄 ア に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の 13 にマークしなさい。

- ① 自由契約
- ② 暫定的
- ③ 決まり事
- ④ 一定の掟
- ⑤ 曖昧な掟

問三 空欄 イ に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の 14 にマークしなさい。

- ① 日本では神が一番偉い
- ② 日本では空気が一番偉い
- ③ 日本では同調圧力が一番偉い
- ④ 日本では承認が一番偉い
- ⑤ 日本では人間が一番偉い

問四 傍線部 d 「不遜なこと」とは何か。次の中から適切なものをすべて選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の 15 にマークしなさい。

- ① 喜多方ラーメン神社を作った。
- ② あちこちにいる神様を大切にしたり。
- ③ 日本人は勝手に神様を改造してきた。
- ④ 人間の都合により信仰の対象を変化させた。
- ⑤ 人間より偉い神様が同調圧力より強い強力な命令を出した。

問五 空欄「ウ」に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「16」にマークしなさい。

- ① 態度
- ② 習慣
- ③ 礼節
- ④ 耳打ち
- ⑤ 目配せ

問六 空欄「エ」に入るもつとも適切な語句を一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「17」にマークしなさい。

- ① 不明瞭な意思疎通
- ② 明瞭な意思疎通
- ③ 曖昧な意思疎通
- ④ 簡単な意思疎通
- ⑤ 自由な意思疎通

問七 次のの中から本文の内容と異なるものを一つ選び記号で答えなさい。解答はマーク用解答用紙の「18」にマークしなさい。

- ① 高コンテキストは曖昧である。
- ② 低コンテキストは明瞭である。
- ③ 高コンテキストを繰り返した結果、空気が作られた。
- ④ 低コンテキストを繰り返した結果、空気が作られた。
- ⑤ 高コンテキストを日本人は好む。

「問題三」 次の各問いに答えなさい。

問一 次の慣用句を完成させるために、後の〈語群〉から適切な語を選び記号で答えなさい。解答は a～e の順に  ～  にマークしなさい。同じ語は使わないこと。

- a ( ) ( ) 脚を露す
- b ( ) ( ) の夫婦
- c 一寸の ( ) ( ) にも五分の魂
- d 閑古 ( ) ( ) が鳴く
- e ( ) ( ) の寢床

〈語群〉

- ① 虫
- ② うなぎ
- ③ 鳥
- ④ のみ
- ⑤ 馬
- ⑥ かつば

問二 次の四字熟語を完成させるために、後の〈語群〉から適切な語を選び記号で答えなさい。解答は a～e の順に  ～  にマークしなさい。同じ語は使わないこと。

- a 意気 ( ) ( ) ヲ
- b 内憂外 ( ) ( )
- c 百家 ( ) ( ) 鳴
- d 臨機 ( ) ( ) 変
- e 興味 ( ) ( ) ヲ

〈語群〉

- ① 争
- ② 応
- ③ 間
- ④ 患
- ⑤ 揚
- ⑥ 津





